

国立科学博物館の 重要科学技術史資料（未来技術遺産*）に登録

（独）国立科学博物館は、「科学技術の発達史上重要な成果を示し、次世代に継承していく上で重要な意義を持つ科学技術史資料」及び「国民生活、経済、社会、文化の在り方に顕著な影響を与えた科学技術史資料」の保存と活用を図るために重要科学技術史資料（愛称：未来技術遺産）の登録を実施しています。このたび、携帯電話の元祖ともいえる大阪万博の携帯電話など27件の重要科学技術史資料が10月6日に登録されました。そのうち本会に関連のある2件をご紹介します。

<写真提供> 国立科学博物館

（国立科学博物館産業技術史資料情報センター HP <http://sts.kahaku.go.jp/material/index.html> より抜粋）

*未来技術遺産（愛称）：過去の科学技術史資料のうち未来へ引き継ぐべき遺産として名づけた愛称。

1. 「ビール製造工業化のさきがけ」

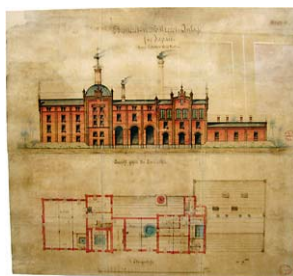
登録番号 第00046号

アサヒビール株式会社所蔵（大阪府吹田市）

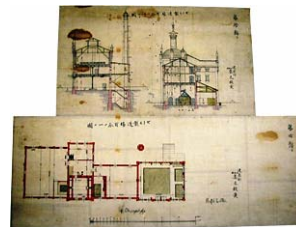
【大阪麦酒醸造所の図面とビール製造機器】

- (1) 大阪麦酒吹田醸造所基本設計図（46枚）1890年
- (2) 大阪麦酒吹田村醸造所実施設計図（6枚）1890年
- (3) 麦芽粉碎機（2本ローラー型）1890年
- (4) 木製貯蔵樽 1890～1891年

選定理由：ビール産業興隆期の醸造所設計図ならびに製造機器である。大阪麦酒は、それまでの個人事業的なビール製造所が乱立する中から、大資本による近代的なビール製造会社として誕生した企業の一つで、ドイツからの技術導入を図り、「アサヒビール」銘柄のビールを製造した。本資料はドイツで設計された醸造所基本設計図、明治期を代表する日本人建築家・妻木頼黄が設計した実施設計図、原料の麦芽をローラーで粉碎する粉碎機、醗酵したビールを貯蔵する木製樽であり、近代的な産業としてビール産業が確立する最初期の製造機器で現存が確認された唯一のものとして貴重である。



(1)



(2)



(3)



(4)

2. 「新たな洗浄原理を創出した洗剤配合酵素」

登録番号 第00069号

花王株式会社所蔵（東京都墨田区）

【アルカリセルラーゼ】1987年

選定理由：従来の4分の1の容量を可能にしたコンパクト洗剤に配合された、酵素の造粒物である。アルカリセルラーゼは、花王（株）の研究開発によって見いだされた菌株から産生され、木綿の単繊維内部に作用し、それまでの「洗浄成分が“汚れに作用”して落とす」という洗浄原理に加えて、「“繊維分子に作用”して落とす」という世界的に新しいものを創出した。国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すものとして貴重である。また、本酵素の配合された「コンパクト洗剤」は洗剤の歴史を変えたともいえる。

